

# 中学校理科 第1・2学年

各学年共通した課題		知識及び技能を活用して、密度や質量パーセント濃度、化学式を求めること	
学年	設問	設問のねらいと問題の概要	正答率(%)
1	大問2 ⑧	○ 物質の密度についての思考力	31.8
2	大問2 ⑥	○ 酸化銀の化学式についての知識及び技能	21.9

— 復習のポイント — 中学校第1・2学年のみなさんへ

## 第1学年の問題から

○ メスシリンダーに金属を入れ、実際に実験をしてみましょう。

例 密度を求めるには、何がわかればいだろうか。

体積はどのように、はかればよいだろうか。重さは？



## 第2学年の問題から

○ 原子、分子をモデル図(粒子)で考え、物質の構造を理解しましょう。

例 銀原子2個と酸素原子1個で酸化銀は、表せるね。

化学式で表すには、どうしたらいいだろう。モデル図に表してみよう。

## 第1・2学年の問題から

○ 日頃から、学習した内容や生活経験など、自然の事物・現象を様々な視点から結び付けて考える習慣を身に付けましょう。

例 密度の違いで、水に浮くか沈むかが決まるね。

先生が使っているチョークは、炭酸カルシウムという  $\text{CaCO}_3$  で表せるね。

